
BUSINESS REPORT SOUGOU SHOUKEN

企業価値を高める
セールスプロモーション



第40期 第2四半期 ビジネスレポート

平成22年8月1日～平成23年1月31日

 総合商研株式会社

最適なクロス

株主の皆様へ

To our shareholders

総合商研(株)は
「企業価値を高める
セールスプロモーション」を
企業スローガンとし
多角的な事業を通じ、
お客様の販売促進を
お手伝いしています。

平成23年3月11日に発生いたしました「東北地方太平洋沖地震」により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

株主の皆様には、平素より当社をお引き立て頂きまして、誠にありがとうございます。ここに第40期第2四半期連結累計期間(平成22年8月1日～平成23年1月31日)のビジネスレポートをお届けするとともに、日頃の温かいご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善し、設備投資が持ち直しつつあるものの、失業率は依然高水準であり、海外景気や為替レート、原油価格の動向によっては、景気が下振れするリスクが存在することから、先行きは依然不透明な状態が続いております。

また、当社グループが位置する印刷・広告

メディア・ソリューションを



代表取締役会長 加藤 優



代表取締役社長 片岡 廣幸

業界におきましても、同業者間の競争が一層激しさを増しており、お客様のニーズに応える経営戦略がより強く求められています。

このような環境の中、当社グループは、他社との差別化を図るため、サイン・ディスプレイ、WEB制作、携帯電話向け動画配信などへの積極的な展開を行うとともに、新規営業体制の強化や既存クライアントとの取引拡大を進めて参りました。

その結果、売上高は7,496百万円となり、利益につきましては、営業利益が377百万円、経常利益が383百万円、四半期純利益が209百万円となりました。

当下半年につきましても、政府によって、

現状改善のための有効な景気浮揚策、内需振興策が迅速に打ち出されるとは期待しにくく、経営環境の厳しさは続くものと思われませんが、当社といたしましてはこれからも外部要因に依存することなく、さらにIT、インターネット時代に即した販売促進支援プランをクロスメディア・ソリューションとしてご提案し、一層の業績拡大に取り組んで参ります。

株主の皆様には、今後とも倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年4月

名入れ・パック年賀状ともに取扱件数は大幅増加。 年賀状印刷事業と商業印刷事業は堅調に推移。

[売上高]

年賀状印刷事業におきましては、従来の白石工場に加えて、厚木工場を本州方面の年賀工場とすることで生産体制の充実を図った結果、名入れ年賀状の取扱件数が81万件(前年同期比116.0%)と好調に推移、またパック年賀状の取扱件数につきましても321万パック(前年同期比126.3%)と例年より大幅に増加したことから、当事業の売上高は2,556百万円となりました。

商業印刷事業におきましては、既存顧客からの受注が堅調に推移したことや、連結子会社の売上高が加わった結果、当事業の売上高は4,912百万円となりました。

[利益]

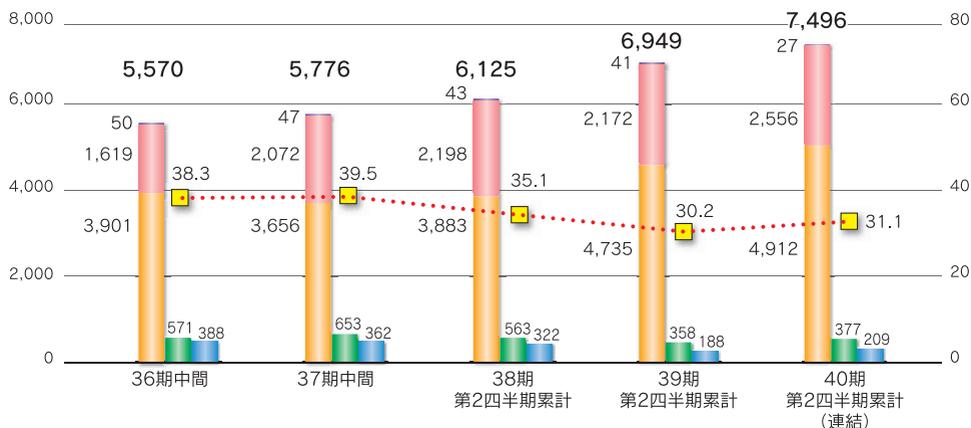
利益につきましては、営業強化による販促費の増加や、伊勢原工場の新設に伴う諸費用の発生などはありませんでしたが、営業利益は377百万円、経常利益は383百万円、四半期純利益につきましては209百万円となりました。

第2四半期累計期間の業績推移

※当期より連結決算を開始しましたので、36期中間から39期第2四半期累計は、単体の数値になります。

単位:百万円

単位:%

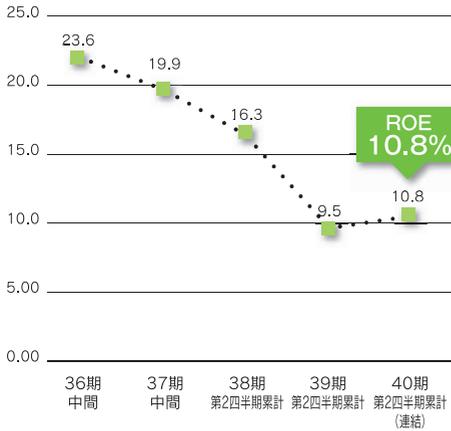


■ その他事業売上高
 ■ 年賀状印刷事業売上高
 ■ 商業印刷事業売上高
 ■ 営業利益
 ■ 四半期(中間)純利益
 ● 売上総利益率

ROE、ROA、1株当たり四半期純利益はいずれも改善傾向となりました。

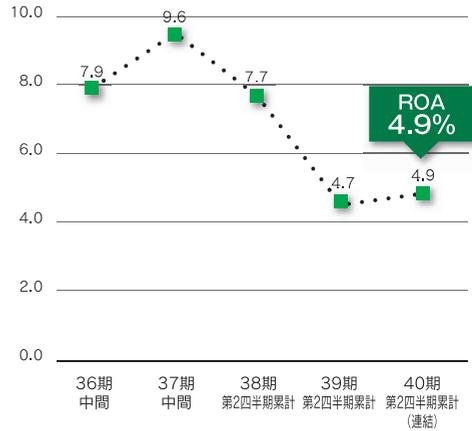
ROE 自己資本四半期(中間)純利益率

単位：%



ROA 総資本経常利益率

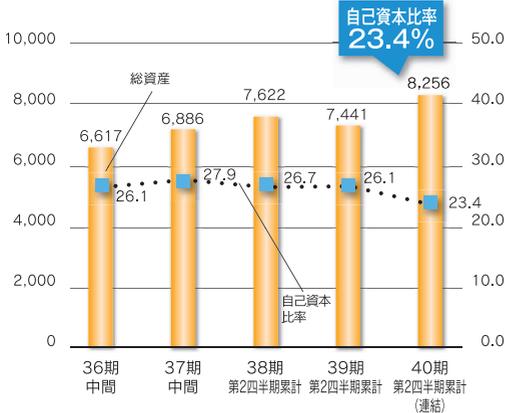
単位：%



総資産及び自己資本比率

単位：百万円

単位：%



1株当たり四半期(中間)純利益

単位：円



トピックス

Trends to Watch



道央自動車道「鷹栖IC」隣接地に5,300坪超の新工場「旭川プリントピア」取得、稼動開始。

道北・道東地域の印刷、情報加工拠点として整備をすすめています。

札幌に次ぐ道内第二の中核市、旭川市の市内といっても過言ではない至近エリアの上川郡鷹栖町。道央道・鷹栖インターに隣接した交通至便の地に、このたび広大な敷地面積を持つ旭川工場(旭川プリントピア)を取得・稼動させました。

この施設は、旧(株)みらいプリンティン

グの破産処理に伴い、当社が取得したものです。道東、道北方面のお客様の印刷物需要に迅速に対応するとともに、新たな情報加工処理機能を持つ、業績伸展のための戦略拠点として活用していく方向で検討を重ねています。

また営業、制作スタッフ部門も旭川プリントピア内に統合。製・販一体の連携による、スピーディ、スムーズ、低コストな自社一貫生産体制を整備しました。



■旭川工場設備概要

- ・敷地面積 17,683.29㎡(5,349.20坪)
- ・建物延床面積 5,591.69㎡(1,688.11坪)
- ・建物構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 陸屋根2階建

- ・オフセット輪転機[B縦半裁4色機1台]
- ・断裁機[菊半1台]
- ・製版[CTP出力機1台]

道都札幌圏ナンバーワンの発行部数 圧倒的な世帯カバー率86.5%の地域新聞ふりっぱー。

地域密着のフリーペーパー(無料紙)として、札幌圏の生活者の方に広く愛読されている地域新聞ふりっぱー。札幌市内10区を網羅し、毎月81.5万部発行の体制を整えています。また190万都市札幌で、世帯配布カバー率86.5%という、道内主要新聞媒体同一エリアの2倍以上の高い到達率を保持しています。

紙面内容は各地域の行催事や医・食・住・遊情報を中心に、バラエティに富んだ構成が基本。広告掲載に際しては「公序良俗」に反すると判断されるものは掲載不可とし、女性や子どもの目にふれても安心な内容となっています。

「ふりっぱー一月2回発行」をめざし
「白石・厚別版」を3月から試験発行。
以降、各区とも順次月2回発行体制へ。

インターネット、モバイルなどのデジタル機器の普及によって、情報の流通量や速度が飛躍的に高まっています。これは、情報の消費＝陳腐化の速度も高速化していることを意味します。

紙による情報メディアとしてはこの流れに即し、広告出稿及び情報発信のタイミングをよりきめ細かく捉えることで、顧客の需要に応えていく必要があります。当社ふりっぱーは紙媒体ならではの保存性、視認性、携行の容易さなどの特性を活かしながら、新しいマーケットの発掘に今後も取り組んでいきます。

自社ふりっぱー配布スタッフや
読者Web会員による各種アンケートなどの
マーケティング調査活動なども実施。

各世帯への地域新聞ふりっぱーのお届けは、一部地域を除き自社の配布組織「ふりっぱーメイト」の方々によるものです。いま現在、40代主婦を中心とする約1,100名の方が配布活動をしています。また読者モニター約14,000名、ふりっぱーWeb会員約7,000名がリスト登録。新商品や企業活動に関する意見、感想のほか、設定したテーマに対しての要望や不満に思うことなど、札幌圏のマーケットに特化した調査を、原則有料で行っています。いずれも該当する企業様の貴重なデータとして、役立てていただいています。

従来はこうしたアンケートも紙に記入する方法がメインでしたが、現在はインターネットの活用などにより迅速、短期間で行えるようになりました。

札幌市内
ポスティング部数
768,200部



※札幌市世帯数は2011年3月1日現在
(札幌市市長政策室公表値)

- 発行部数:815,000部
- 発行:月刊誌
(平成23年3月より白石・厚別版のみ月2回発行)
- 中心読者層:20~50代女性80%以上
- サイズ:A4判(24~32p)
- 配布方法:ポスティング
- 発行版数:5版
(中央南版・白石厚別版・豊平清田版・西手稲版・北東版)

※2011年3月1日現在

Trends to Watch

SHOUKEN



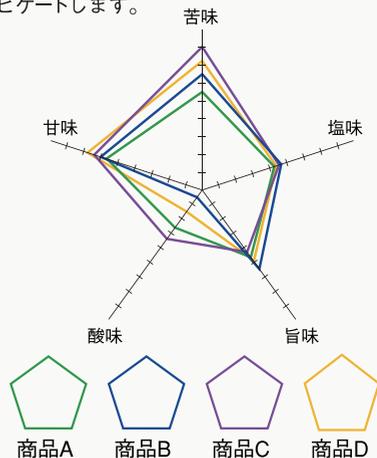
(株)味香り戦略研究所の子会社化により同社保有の味関連コンテンツの有効活用を相互に促進。

味覚センサーを用いて「味」を客観的に数値で評価する「味分析サービス」など、味に関するユニークな情報提供を主業務としてきた関連会社(株)味香り戦略研究所)を子会社化。同社が保有する優良な顧客層の深耕、関連部門開拓などをめざすとともに、当社と密に連携することでより顧客サービスが図れるとの考えです。

従来の「点」としての機能を「線」につなげ、さらに「面」として広げることでお客様、味研(略称)、当社それぞれに有益な情報発信や販促支援が可能になるというものです。現在すでに味データを活用した新商品の製造・販促支援プロジェクトが複数進行しています。



調べる(リサーチ)、知る(データベース)、分ける(アナリシス)、カタチにする(コンサルティング)の4つを基本に、様々な角度から「味」を分析。「味のトレンド予測」や「販売チャネルの分析」など、飲料・食品の“ウリ”をナビゲートします。



商品開発

試作の味を随時分析して商品開発を支援。



販売促進

味を視覚化したツール等の活用で販売を支援。



営業支援

味が見えるという特徴的なPRで営業を支援。

携帯電話を販促手段として利用する技術を持つ モバイルプロモーション企業と事業パートナーに。

急成長が続くインターネットビジネス。いまや広告市場でテレビに次いで第2位の新聞媒体に匹敵する売上げ規模を持つまでに成長を遂げています。

販促支援を事業ドメイン(領域)に掲げる当社では、この分野への対応にもいち早く着手。自社内にITソリューション事業部を設け、Webサイト制作はもとより、ITを活用したコンサルティングからシステム開発まで、セールスプロモーション活動を総合的にプロデュースできる陣容を整えています。

さらに携帯電話を有効なSPメディアとして活用する新技術「Brovigate(ブロービゲート)」を用いた最新モバイルプロモーションを提案するブロードアース㈱と事業

提携。機種ごとに最適化した高品質な映像を携帯画面に配信することで、一段とタイムリーな販促支援を可能にしました。

すでに道内温泉施設紹介キャンペーンで、臨場感のある動画メッセージにより、集客効果を発揮しています。

- 1.国内3キャリア
全ての3G携帯に対応
- 2.アクセスが集中した場合でも安定して接続
- 3.多種多様な
動画コンテンツに対応

 **Broad Earth**
Create comfortable services
ブロードアース株式会社



人と情報の接点を創造・演出・加工する トータル・ソリューション・プロバイダーへ。

デジタルコミュニケーションが華やかさを増すなか「売り」や「誘導」、「集客」「動機付け」の最前線では昔ながらの各種案内サイン、ディスプレイ、イベントなどが購買効果を高めています。最終的な制作物やイベント用造物の形態に大きな変化は見えなくとも、その制作プロセスには最新のノウハウが凝縮されています。

当社では目的、用途、対象、場所、時間などに応じた販促プランや情報伝達手段を吟味。企画・制作・設営・運営、さらには効果検証までトータルに課題解決のお手伝いをしています。サイン、ディスプレイ等の制作もすべ

て自社機器にて短期間、リーズナブルな価格で納品可能に。さらに最新機器による特殊加工などにも対応。いま注目を集めているレンティキュラーレンズへの直接プリントで、3D加工(立体画像処理)のサイン類も制作でき、さまざまな「顧客様の課題解決・提供者」として、事業領域を進化させています。

3D印刷ができる新鋭機

FUJILACCEL
ジェット
UV350GT



- 板状のメディアへのダイレクトプリントや
表面が平滑でないメディアへのプリントが可能
- CMYKに加え白も使えることにより美しい仕上がりが可能に
- レンティキュラーレンズのプリントで3D加工も可能

Financial Highlights

第40期 中間(第2四半期)報告書

2011年1月31日をもちまして、
第40期第2四半期が終了しましたので、
業績についてご報告します。



※当期より連結財務諸表を作成しているため、前期につきましては、単体による財務諸表を記載しております。

四半期連結貸借対照表

単位(百万円)

科目	期別	当第2四半期末	前期末(ご参考)	科目	期別	当第2四半期末	前期末(ご参考)
		平成23年1月31日現在	平成22年7月31日現在				平成23年1月31日現在
資産の部				負債の部			
流動資産		5,013	3,044	流動負債		4,296	2,560
現金及び預金		2,133	1,151	支払手形及び買掛金		1,318	1,376
受取手形及び売掛金		2,167	1,434	短期借入金		2,330	832
たな卸資産		262	293	未払法人税等		159	—
その他		475	197	賞与引当金		9	19
貸倒引当金		△ 25	△ 33	その他		478	332
固定資産		3,243	3,024	固定負債		2,019	1,784
有形固定資産		2,373	2,126	長期借入金		1,424	1,306
建物及び構築物(純額)		762	694	その他		594	478
土地		972	952	負債合計		6,315	4,345
その他(純額)		638	479	純資産の部			
無形固定資産		127	127	株主資本		1,886	1,706
投資その他の資産		743	771	資本金		411	411
投資有価証券		427	385	資本剰余金		441	441
関係会社株式		25	86	利益剰余金		1,034	854
その他		319	383	自己株式		△ 1	△ 1
貸倒引当金		△ 28	△ 84	評価・換算差額等		43	16
資産合計		8,256	6,069	少数株主持分		11	—
				純資産合計		1,941	1,723
				負債純資産合計		8,256	6,069

四半期連結損益計算書

単位(百万円)

科目	期別	当第2四半期累計期間	前2四半期累計期間
		自平成22年8月1日 至平成23年1月31日	自平成21年8月1日 至平成22年1月31日
売上高		7,496	6,949
売上原価		5,158	4,847
売上総利益		2,337	2,102
販売費及び一般管理費		1,960	1,743
営業利益		377	358
営業外収益		43	32
営業外費用		36	35
経常利益		383	355
特別利益		10	4
特別損失		11	29
税金等調整前四半期純利益		383	330
又は税引前四半期純利益		383	330
法人税等合計額		177	142
少数株主持分損失		△ 3	—
四半期純利益		209	188

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位(百万円)

科目	期別	当第2四半期累計期間	前2四半期累計期間
		自平成22年8月1日 至平成23年1月31日	自平成21年8月1日 至平成22年1月31日
営業活動による キャッシュ・フロー		△ 330	△ 230
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 305	△ 237
財務活動による キャッシュ・フロー		1,578	764
現金及び現金同等物の 増加額		942	296
現金及び現金同等物の 期首残高		1,151	1,170
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額		39	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高		2,133	1,466

会社概要

商号 総合商研株式会社
 本社所在地 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号
 設立 昭和47年12月18日
 資本金 411,920千円
 従業員数 406名(単体388名)
 主要業種 商業印刷事業
 年賀状印刷事業
 その他事業
 事業所 本社、東京支社、大阪支社
 旭川営業所、帯広営業所
 仙台営業所、和歌山営業所
 工場 本社工場、白石工場、
 厚木工場、伊勢原工場、旭川工場
 子会社 株式会社味香り戦略研究所
 プリントハウス株式会社
 関連会社 株式会社プリプレス・センター
 システムデザイン開発株式会社
 事業パートナー ブロードアース株式会社

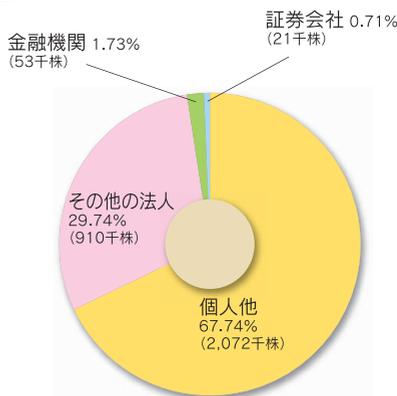
株式の状況

発行可能株式の総数 8,000,000株
 発行済株式の総数 3,060,110株
 株主数 721名
 (注) 当社は自己株式 2,518株を保有しており、上記株主数に含んでおりません。

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
加藤 優	738	24.15
株式会社小森コーポレーション	180	5.88
大日精化工業株式会社	180	5.88
総合商研従業員持株会	166	5.45
株式会社光文堂	100	3.27
小松印刷株式会社	100	3.27
志田 秋子	78	2.55
日藤ホールディングス株式会社	70	2.29
東京インキ株式会社	63	2.06
奥山 裕三	50	1.63

株主構成 (所有者別株式分布)



取締役・監査役

代表取締役会長 加藤 優
 代表取締役社長 片岡 廣幸
 常務取締役 菊池 健司
 取締役 高谷 真琴
 菊池 弘人
 常勤監査役 大居 啓子
 監査役 長谷 勲
 山川 寛之

(注) 長谷勲氏および山川寛之氏は社外監査役であります。

お問い合わせ

総合商研株式会社

〒007-0802 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48

企画管理本部

TEL.011-780-5677(代)

http://www.shouken.co.jp/

株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎年10月開催
基準日	定時株主総会 毎年7月31日 期末配当金 毎年7月31日 中間配当金 毎年1月31日 その他必要がある時は、予め公告して定めた日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701
(郵便物送付先)	東京都府中市日鋼町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-176-417 (フリーダイヤル)
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/ STA/retail/service/daiko/index.html
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載して行います。 (電子公告掲載URL http://www.shouken.co.jp/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	7850

【株券電子化後の株式に関するお届出先及びご照会先について】

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
- 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株主優待のご案内

毎年7月31日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上の株式を保有されている株主の皆様は、次の株主優待を実施しております。

- 北海道の特産品(3,000円程度)のお届け
- 年賀状印刷の期間限定早期受付割引サービス
(通常料金から30%の割引)



総合商研株式会社

